

平成30年度
J-STAGE利用者満足度調査
(J-STAGE利用機関向け)

■ 目次

【調査概要】

【詳細編】

- 電子ジャーナル情報発信への役立ち度
- 電子ジャーナル情報発信に役立っている理由
- 電子ジャーナル情報発信に役立っていない理由
- 国際発信力強化への役立ち度
- 国際発信力強化に役立っている理由
- 国際発信力強化に役立っていない理由
- 連携を希望するサイト
- J-STAGEの登載・公開作業担当者
- 全文XML利用状況
- 全文XML形式への移行を考えていない理由
- エンバーゴ・認証設定有無
- エンバーゴ設定期間
- 認証設定期間
- エンバーゴ・認証設定理由
- エンバーゴ・認証設定 今後の方針
- 二次利用取扱い方法の表記、ライセンスの導入有無
- 電子ジャーナル情報発信に有益であると思われる機能
- 研究データの取扱い規程有無
- プレプリントサーバに登載した原稿の自誌への投稿承認状況
- 新サービス 役立ちそうと思われるもの

■ 調査概要

調査目的	JSTが提供する主要な情報サービスについて、各サービスの利用状況、認知度、利用シーンや類似サービスとの比較・選択状況を明らかにするための調査を実施し、結果を事業企画に活用する。
対象者条件	J-STAGEでジャーナルを公開している機関
サンプル数	492機関
調査手法	インターネット調査
調査期間	2019年1月10日（木）～2月8日（金）



詳細編

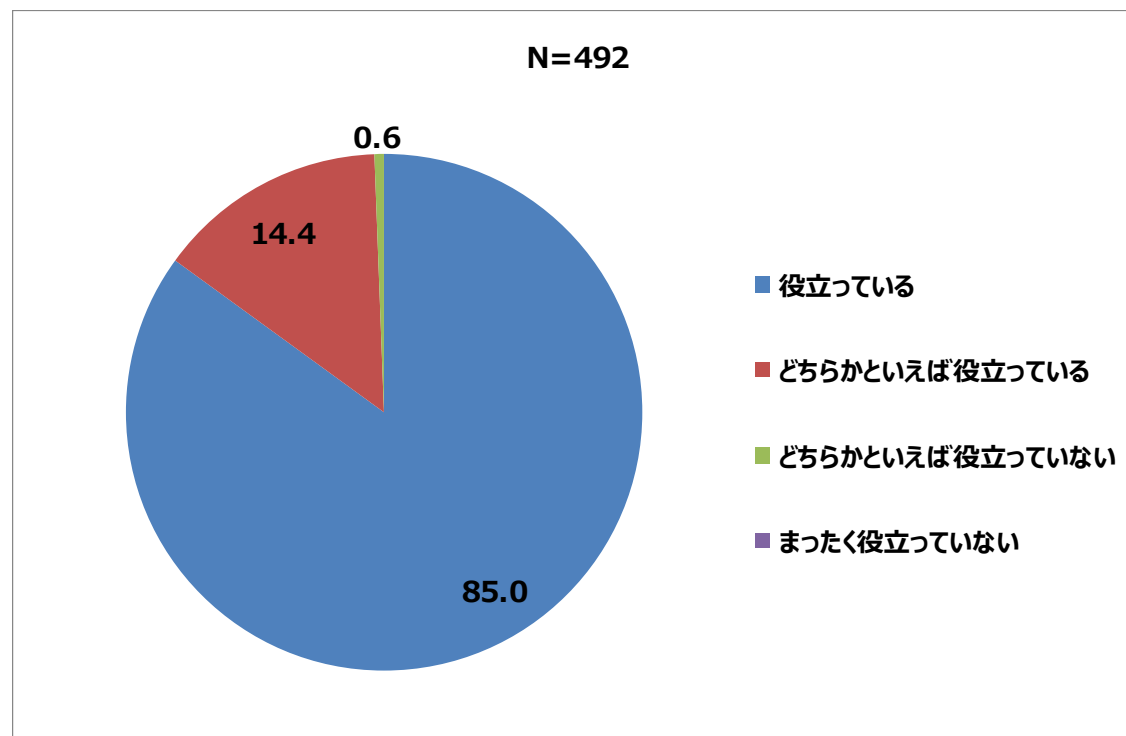
■ 電子ジャーナル情報発信への役立ち度

問1. J-STAGEは貴発行機関の電子ジャーナル情報の発信に役立っていると思いますか。(1つ選択)

- J-STAGEの役立ち度は、「役立っている」が85.0%と最も高かった。「どちらかといえば役立っている」を含めたポジティブな回答は、99.4%を占め、大多数が満足した様子が伺える。

単位：%

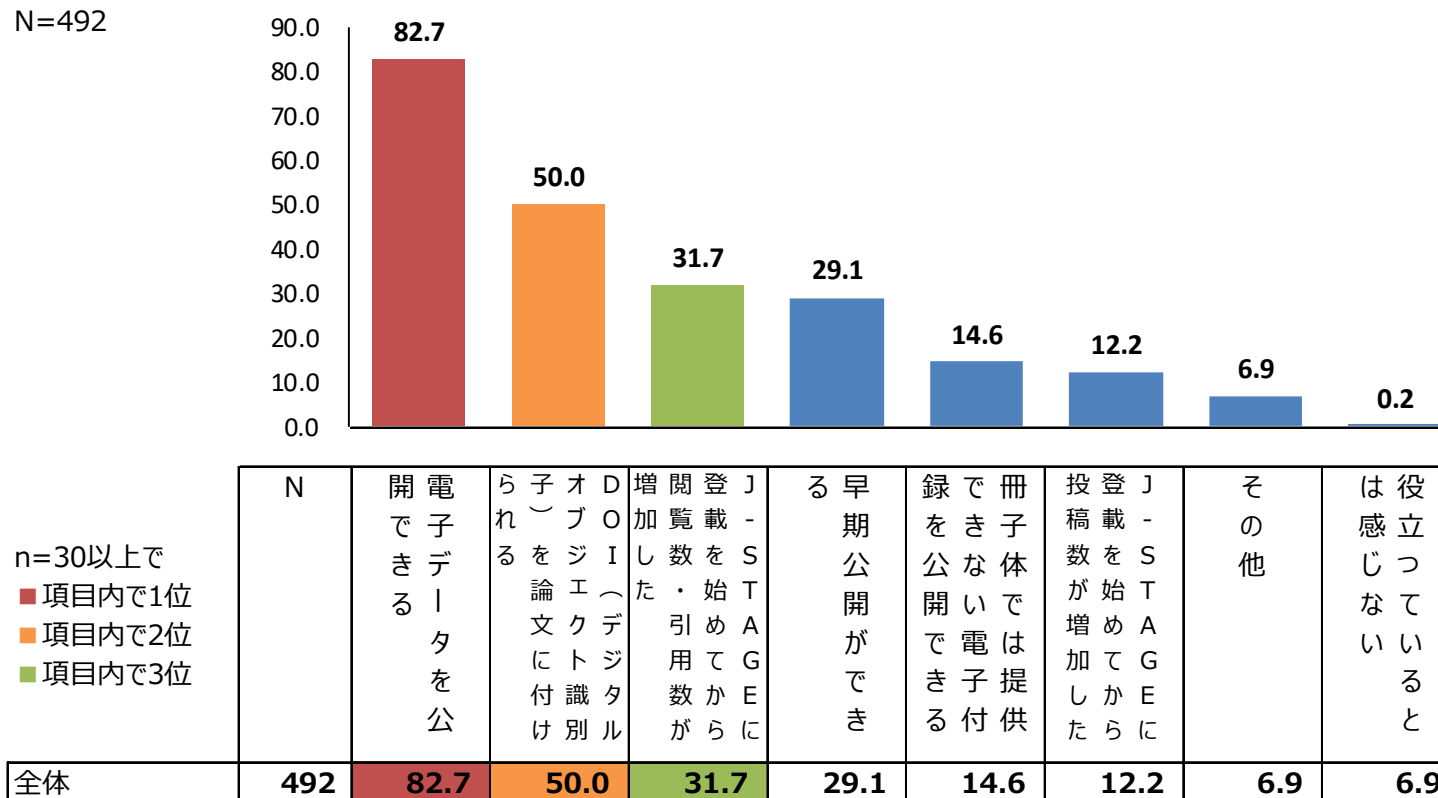
役立っている 計	99.4
役立っていない 計	0.6



■ 電子ジャーナル情報発信に役立っている理由

問2. J-STAGEは貴発行機関の電子ジャーナル情報の発信に役立っていると考えられる理由は何ですか。(複数選択可) (問1の回答にかかわらず、当てはまるものをすべてお選びください)

- 役立っている理由は、「電子データを公開できる」が82.7%と最も高く、次いで「DOI（デジタルオブジェクト識別子）を論文に付けられる」の50.0%、「J-STAGEに登載を始めてから閲覧数・引用数が増加した」の31.7%の順に続いている。



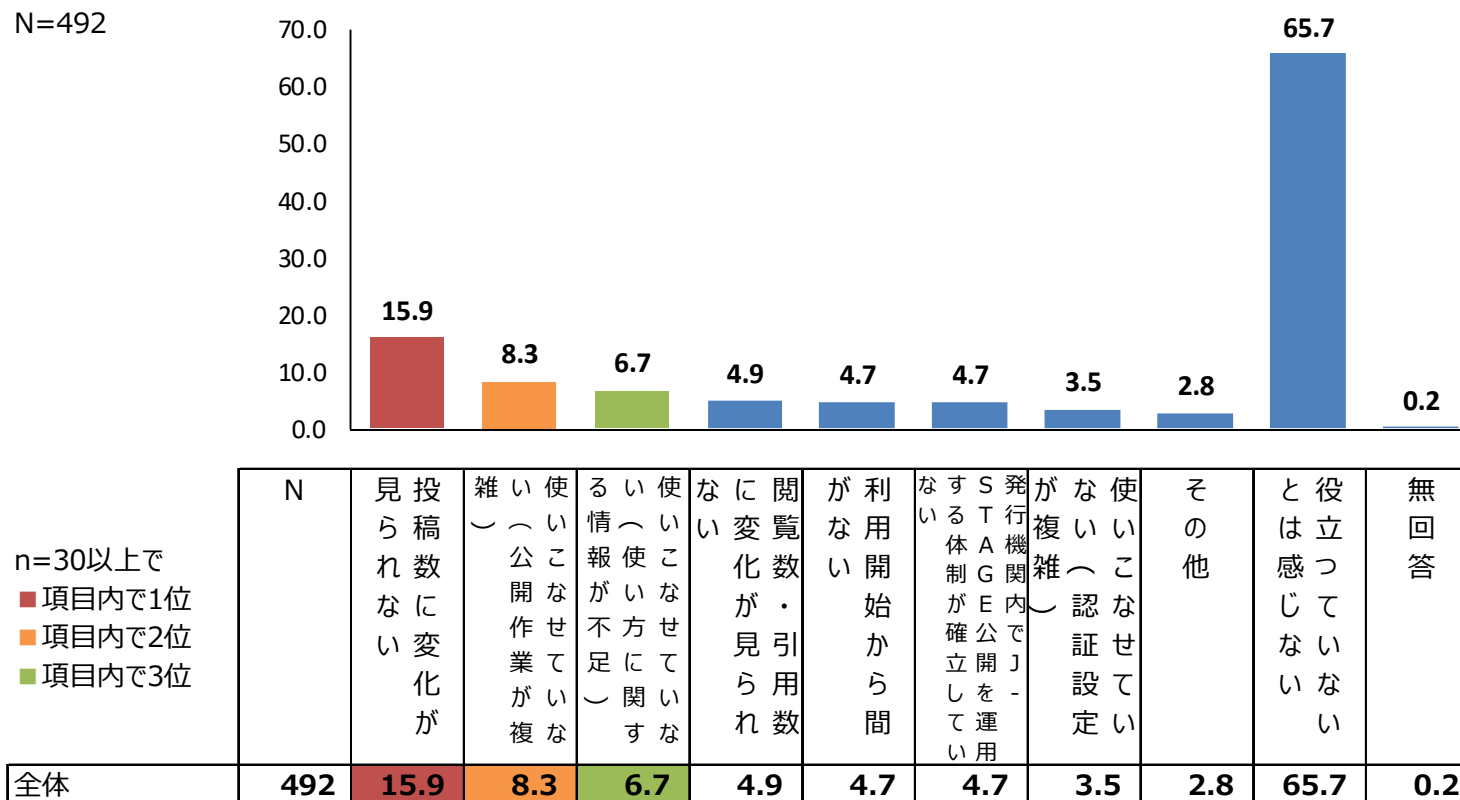
※全体値を降順に並び替え

※単位：%

■ 電子ジャーナル情報発信に役立っていない理由

問3. J-STAGEが貴発行機関の電子ジャーナル情報の発信に役立っていないと考える理由は何ですか。（複数選択可）（問1の回答にかかわらず、当てはまるものをすべてお選びください）

- 役立っていない理由は、「投稿数に変化が見られない」が15.9%と最も高く、次いで「使いこなせていない（公開作業が複雑）」の8.3%、「使いこなせていない(使い方に関する情報が不足)」の6.7%の順に続いている。一方、65.7%は「役立っていないとは感じない」と回答している。



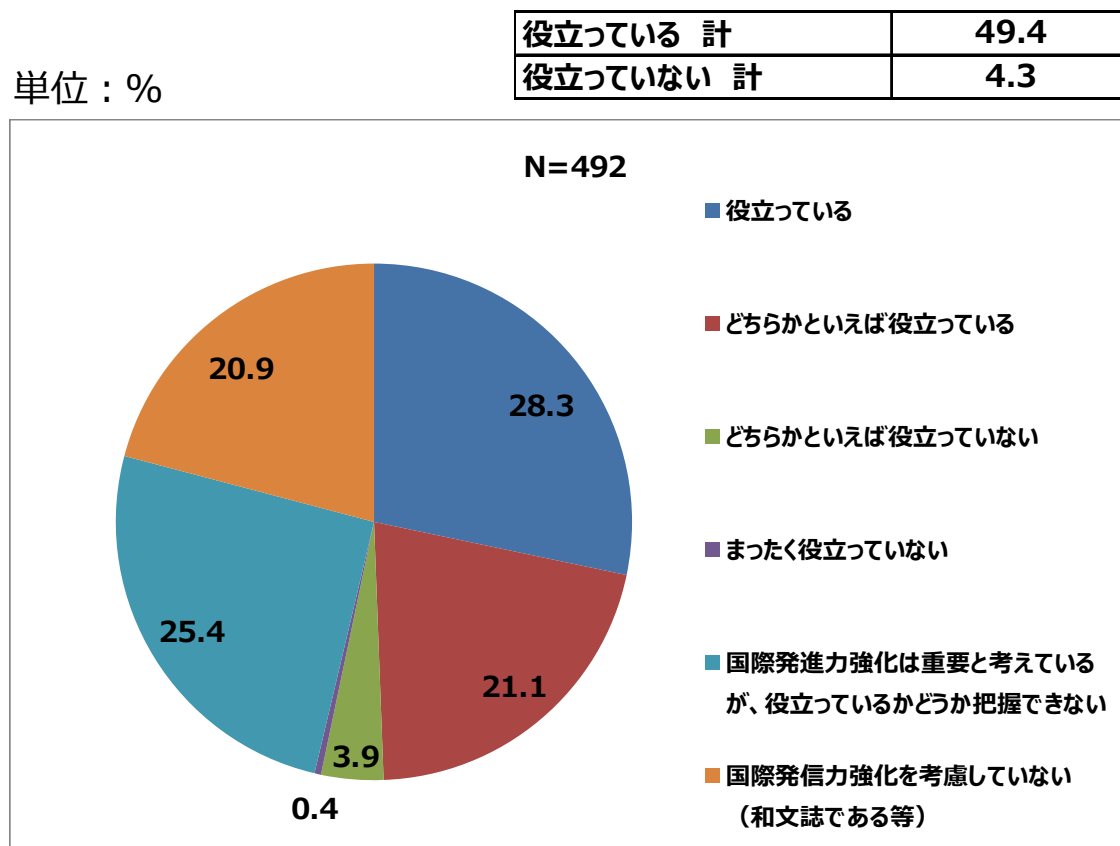
※全体値を降順に並び替え

※単位：%

■ 国際発信力強化への役立ち度

問4. J-STAGEは貴発行機関の電子ジャーナル情報の国際発信力強化に役立っていると思われませんか。（1つ選択）

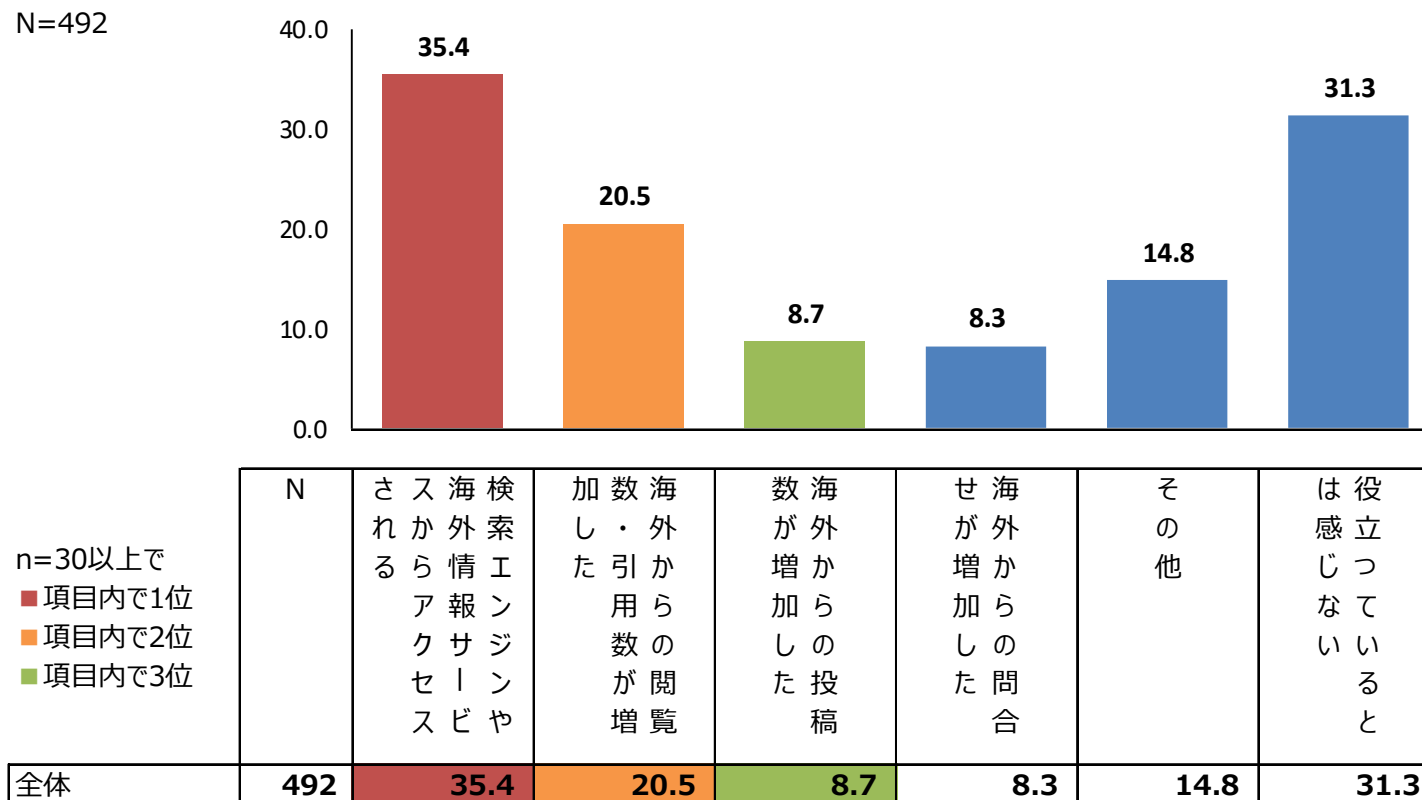
- J-STAGE情報の国際発信力強化への役立ち度は、「役立っている」が28.3%と最も高く、「どちらかといえば役立っている」を含めたポジティブな回答は49.4%であった。



■ 国際発信力強化に役立っている理由

問5. 国際発信力強化に役立っていると考えられる理由は何ですか。（複数選択可）（問4の回答にかかわらず、当てはまるものをすべてお選びください）

- 国際発信力強化に役立っている理由は、「検索エンジンや海外情報サービスからアクセスされる」が35.4%と最も高く、次いで「海外からの閲覧数・引用数が増加した」の20.5%、「海外からの投稿数が増加した」の8.7%の順に続いている。一方、「役立っているとは感じない」という回答も、31.3%存在した。



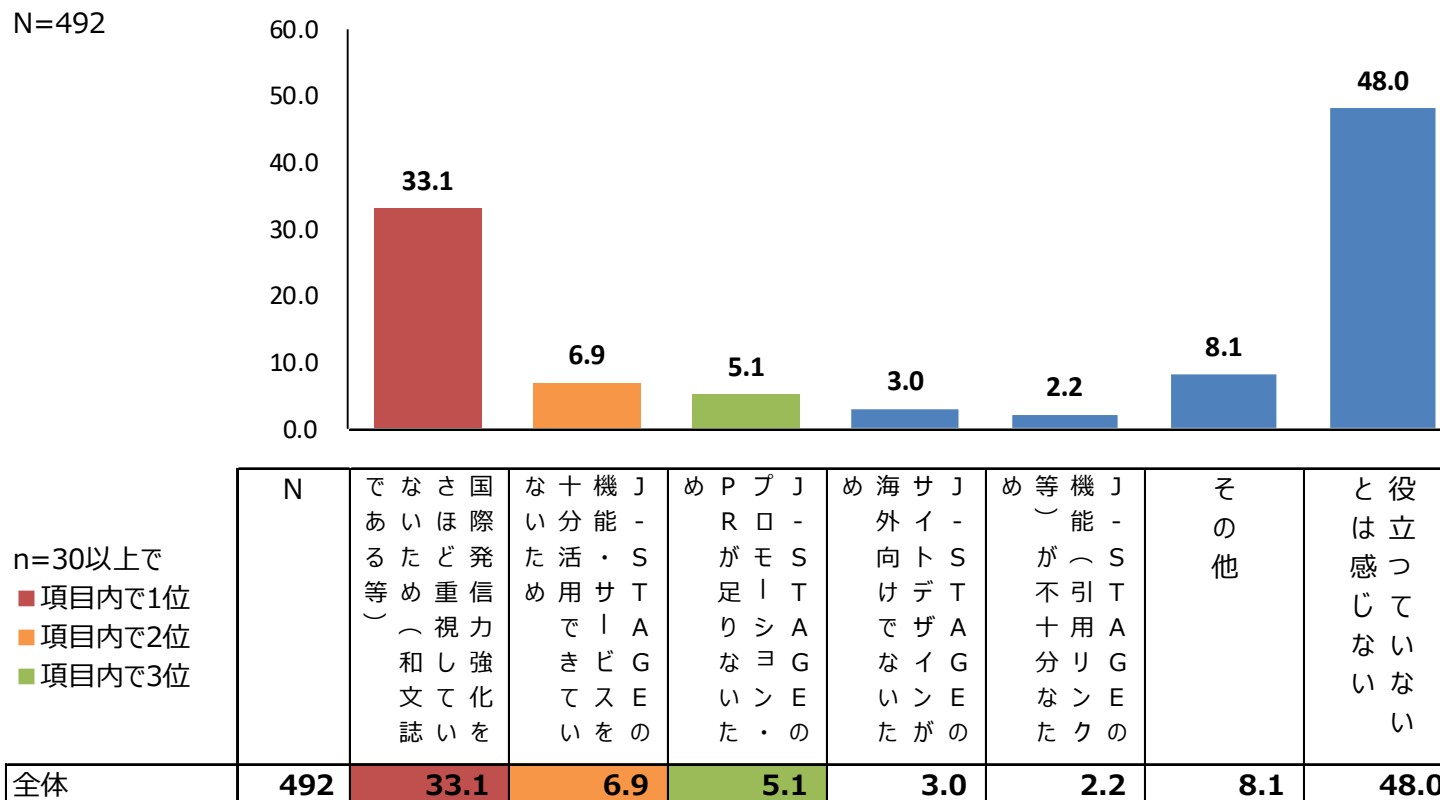
※全体値を降順に並び替え

※単位：%

■ 国際発信力強化に役立っていない理由

問6. 国際発信力強化に役立っていないと考える理由は何ですか。（複数選択可）（問4の回答にかかわらず、当てはまるものをすべてお選びください）

- 国際発信力強化に役立っていない理由は、「国際発信力強化をさほど重視していないため（和文誌である等）」が33.1%と最も高く、次いで「J-STAGEの機能・サービスを十分活用できていないため」の6.9%、「J-STAGEのプロモーション・PRが足りないため」の5.1%の順に続いている。一方、「役立っていないと感じない」という回答は、48.0%と最も高くなっている。



※全体値を降順に並び替え

※単位：%

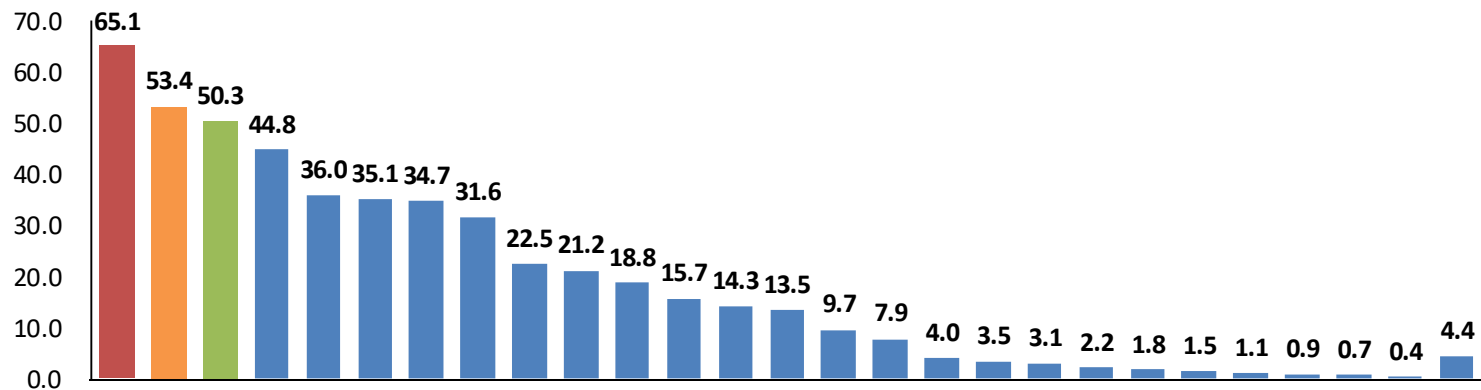
連携を希望するサイト

問7. (任意) J-STAGEがどの論文検索サイト等と連携を強化する(あるいは新規に連携する)と、貴誌の閲覧される可能性が高くなると考えますか。(複数選択可)

- 連携強化、新規連携により閲覧される可能性が高くなると思われるサイトは、「Google Scholar (Google)」が65.1%と最も高く、次いで「CiNii (国立情報学研究所)」の53.4%、「Googleサーチ (Google)」の50.3%の順に続いている。

任意回答

N=453



n=30以上で

- 項目内で1位
- 項目内で2位
- 項目内で3位

N	Google Scholar (Google)	CiNii (国立情報学研究所)	Googleサーチ (Google)	国立国会図書館サーチ	Web of Science (クラリベイト・アナリティクス)	Scopus (Elsevier)	PubMed (NCBI)	J-STAGE (J-GLOBAL)	Medline (MEDLINE)	中央誌刊行会 (医学中央)	ResearchGate (ResearchGate)	Crossref (Crossref)	メテオ (メテオ)	Journal (Journal)	SECO (SECO)	CAS (CAS)	Socinf (Socinf)	東日本大震災アーカイブ (国立国会図書館)	DOAJ (DOAJ)	OASIS (OASIS)	術情報研究 (術情報研究)	NDST (NDST)	OC (OC)	Clara (Clara)	Riing (Riing)	LS (LS)	太平洋地域事務局 (WHOW)	WPI (WPI)	Libri (Libri)	TRID (TRID)	その他
全体	453	65.1	53.4	50.3	44.8	36.0	35.1	34.7	31.6	22.5	21.2	18.8	15.7	14.3	13.5	9.7	7.9	4.0	3.5	3.1	2.2	1.8	1.5	1.1	0.9	0.7	0.4	0.4	4.4		

※全体値を降順に並び替え

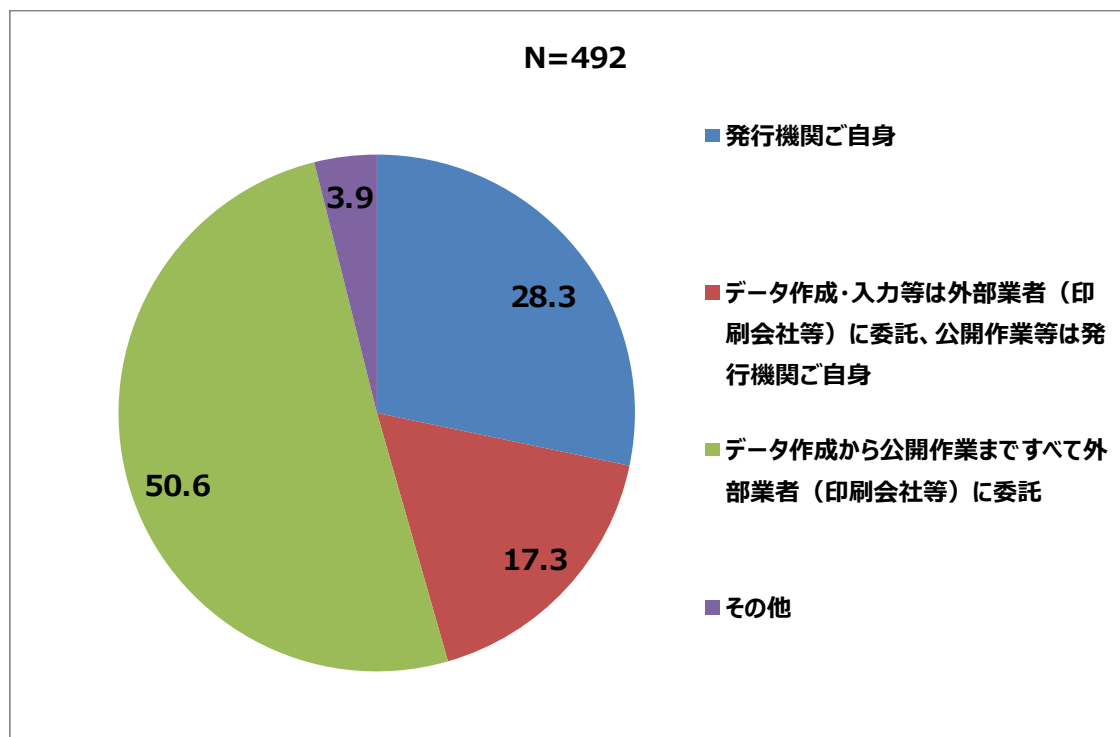
※単位：%

■ J-STAGEの登載・公開作業担当者

問8. J-STAGEへの登載・公開作業はどなたがおこなっていますか。(1つ選択)

- J-STAGEの登載・公開作業担当は、「データ作成から公開作業まですべて外部業者（印刷会社等）に一任」が50.6%と約半数を占めた。

単位：%

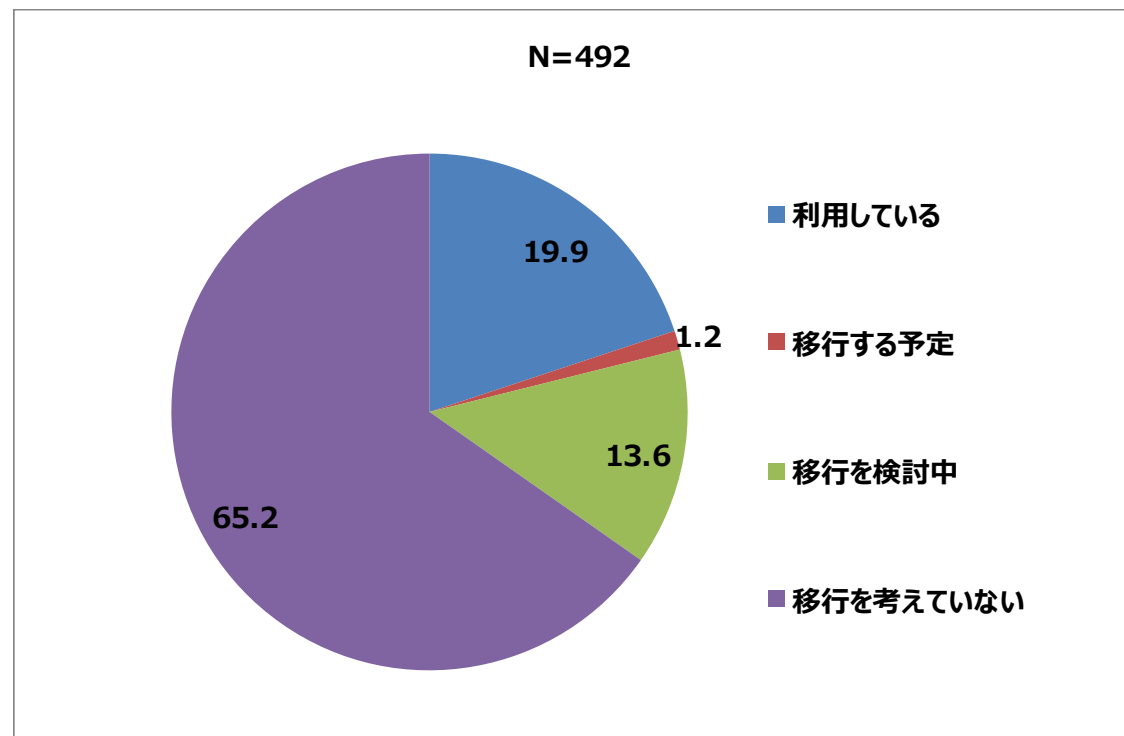


■ 全文XML利用状況

問9. 全文XMLの利用状況及び予定について教えてください。(1つ選択)

- 全文XMLの利用状況は、「利用している」が19.9%で、65.2%が「移行を考えていない」と回答。

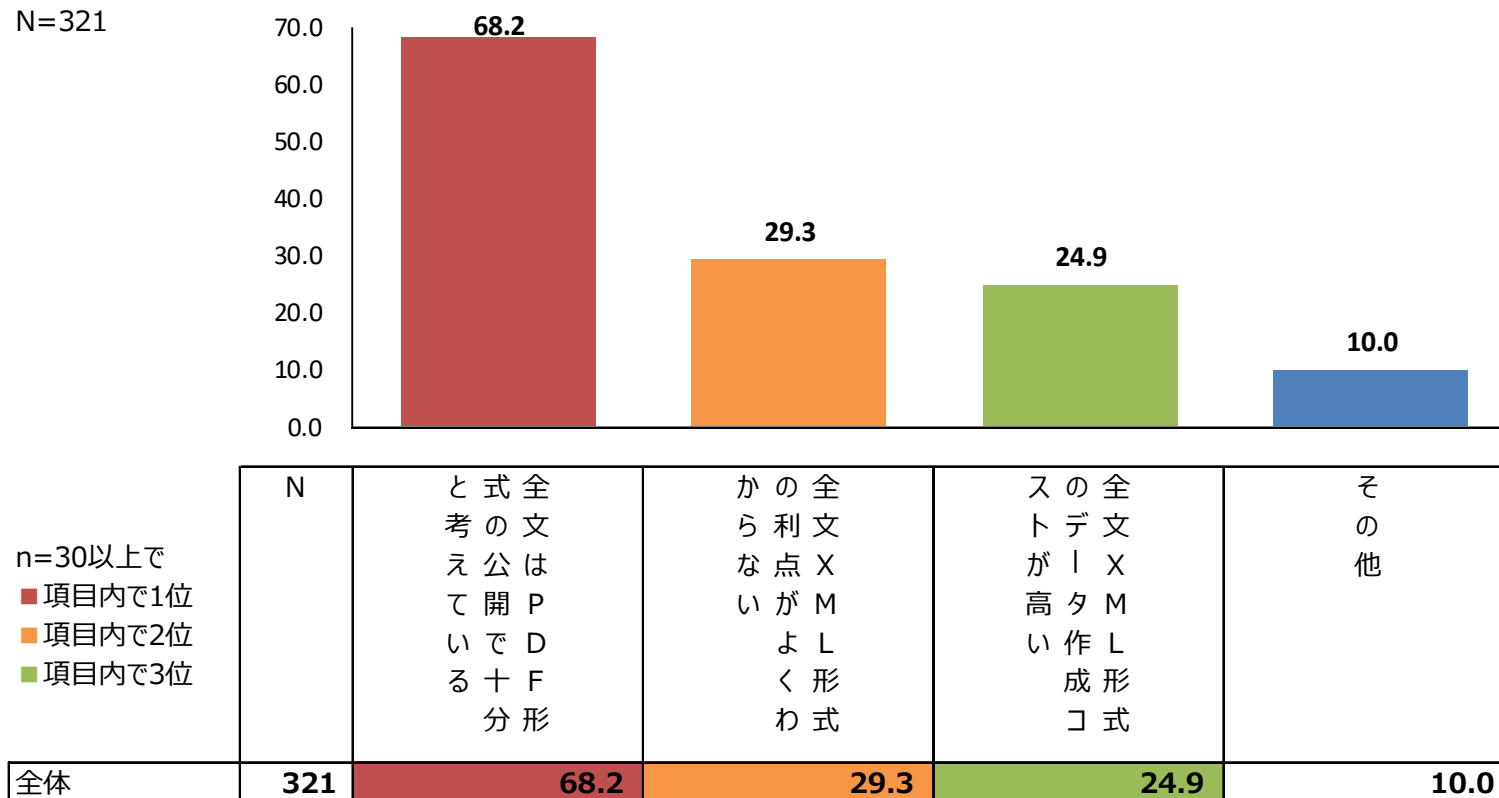
単位：%



■ 全文XML形式への移行を考えていない理由

問10. 全文XML形式への移行を考えていない理由は何ですか。(複数選択可)

- 全文XML形式への移行を考えていない理由は、「全文はPDF形式の公開で十分と考えている」が68.2%と最も高く、次いで「全文XML形式の利点がよくわからない」の29.3%、「全文XML形式のデータ作成コストが高い」の24.9%の順に続いている。



※全体値を降順に並び替え

※単位：%

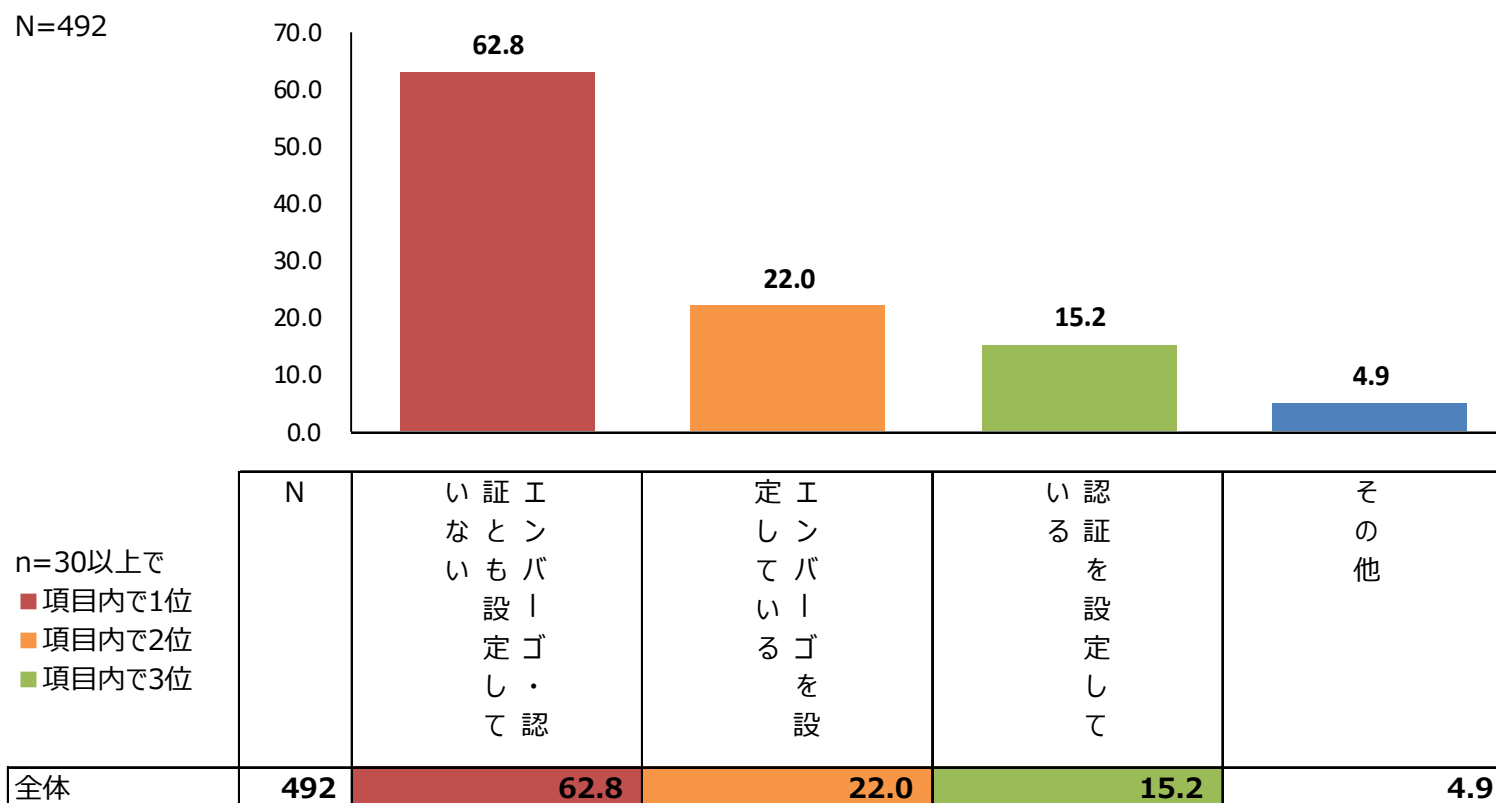
■ エンバーゴ・認証設定有無

問11. J-STAGEでは、科学技術刊行物を速やかに、かつオープンアクセスで公開することを推進しています。貴誌では、エンバーゴ*1あるいは認証*2を設定していますか。設定している場合、その期間を教えてください。

*1 冊子発行からJ-STAGE公開までの期間（本アンケートにおいては、公開=少なくとも書誌情報が閲覧可能な状態、と定義します）

*2 J-STAGE登載から認証解除までの期間

- エンバーゴ・認証設定については、「エンバーゴを設定している」は22.0%、「認証を設定している」は15.2%であった。



※全体値を降順に並び替え

※単位：%

■ エンバーゴ設定期間

問11. J-STAGEでは、科学技術刊行物を速やかに、かつオープンアクセスで公開することを推進しています。貴誌では、エンバーゴ*1あるいは認証*2を設定していますか。設定している場合、その期間を教えてください。

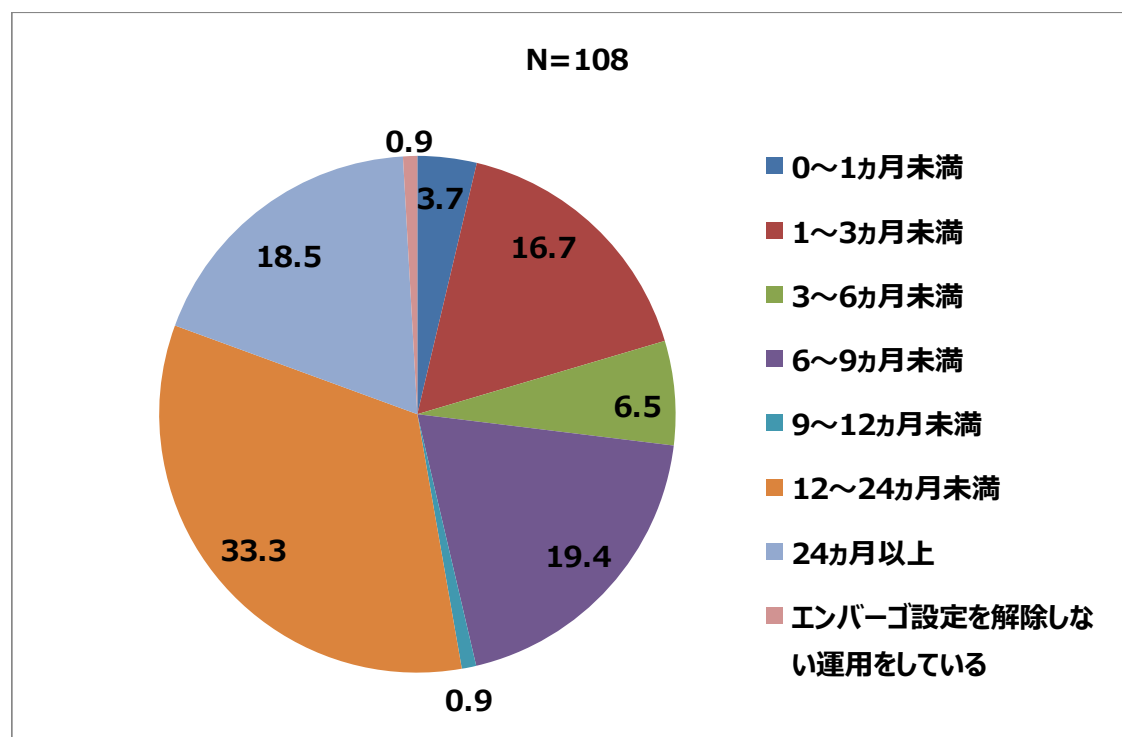
*1 冊子発行からJ-STAGE公開までの期間（本アンケートにおいては、公開=少なくとも書誌情報が閲覧可能な状態、と定義します）

*2 J-STAGE登載から認証解除までの期間

- エンバーゴ設定期間については、「12~24か月未満」が33.3%と最も高く、次いで「6~9か月未満」の19.4%、「24ヶ月以上」の18.5%の順に続いている。

「エンバーゴを設定している」回答者

単位：%



■ 認証設定期間

問11. J-STAGEでは、科学技術刊行物を速やかに、かつオープンアクセスで公開することを推進しています。貴誌では、エンバーゴ*1あるいは認証*2を設定していますか。設定している場合、その期間を教えてください。

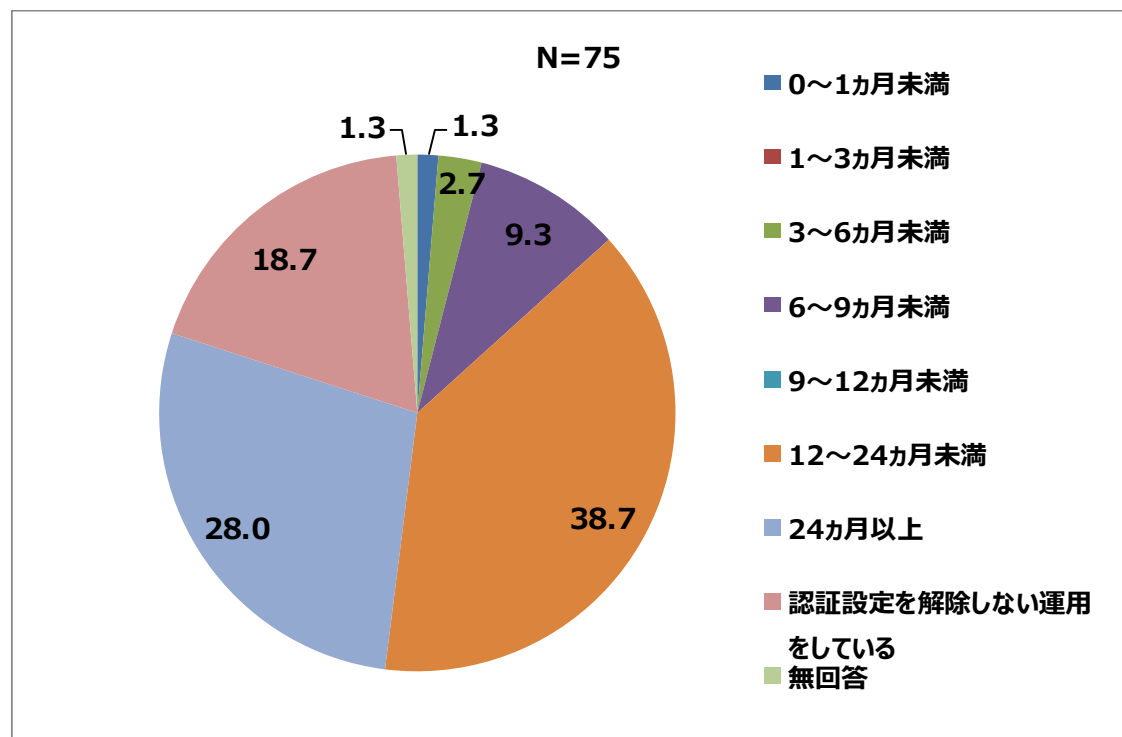
*1 冊子発行からJ-STAGE公開までの期間（本アンケートにおいては、公開=少なくとも書誌情報が閲覧可能な状態、と定義します）

*2 J-STAGE登載から認証解除までの期間

- 認証設定期間については、「12~24か月未満」が38.7%と最も高く、次いで「24ヶ月以上」の28.0%、「認証設定を解除しない運用をしている」の18.7%の順が続いている。

「認証を設定している」回答者

単位：%

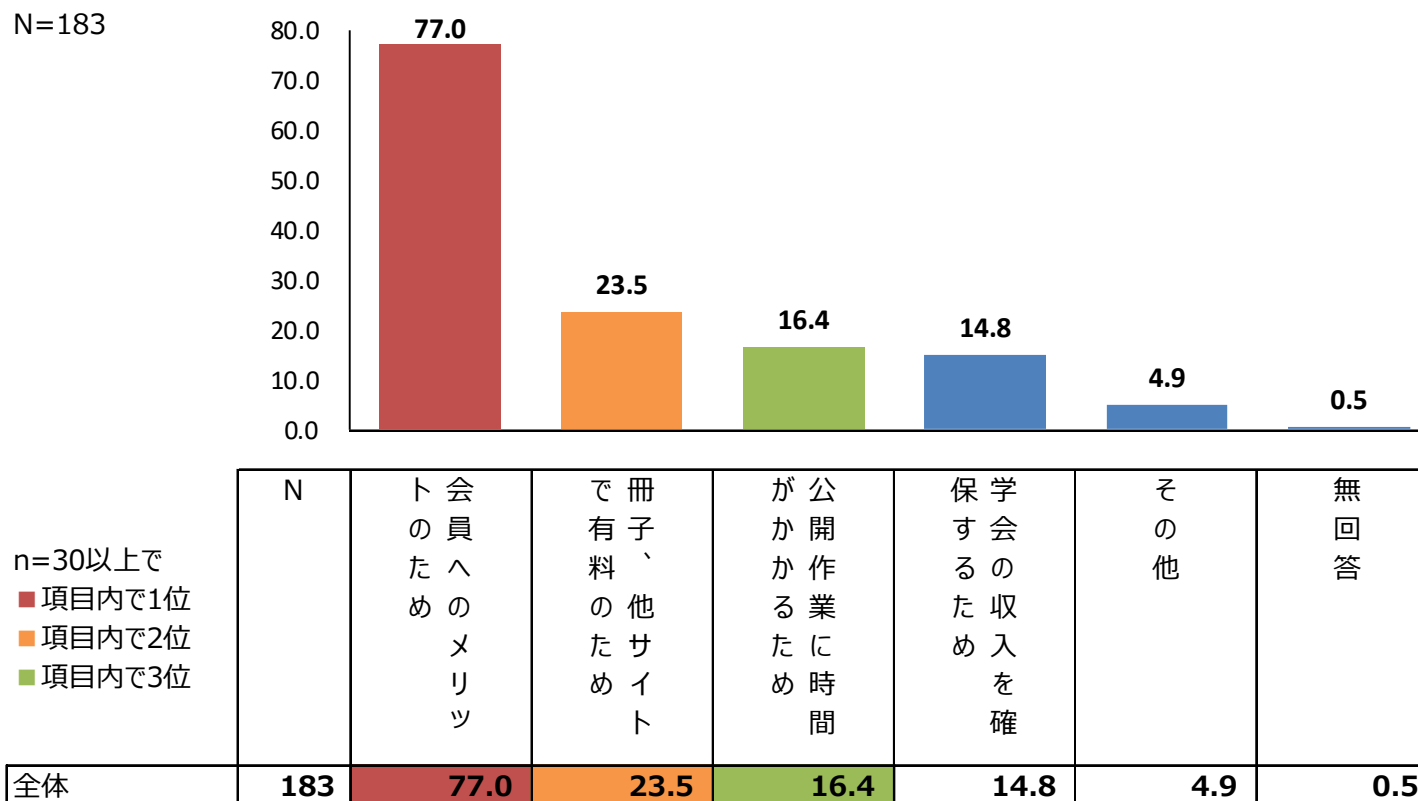


■ エンバーゴ・認証設定理由

問12. エンバーゴや認証を設定している理由を教えてください。(複数選択可)

- エンバーゴや認証を設定している理由は、「会員へのメリットのため」が77.0%と最も高く、次いで「冊子、他サイトで有料のため」の23.5%、「公開作業に時間がかかるため」の16.4%の順が続いている。

「エンバーゴ、もしくは認証を設定している」回答者



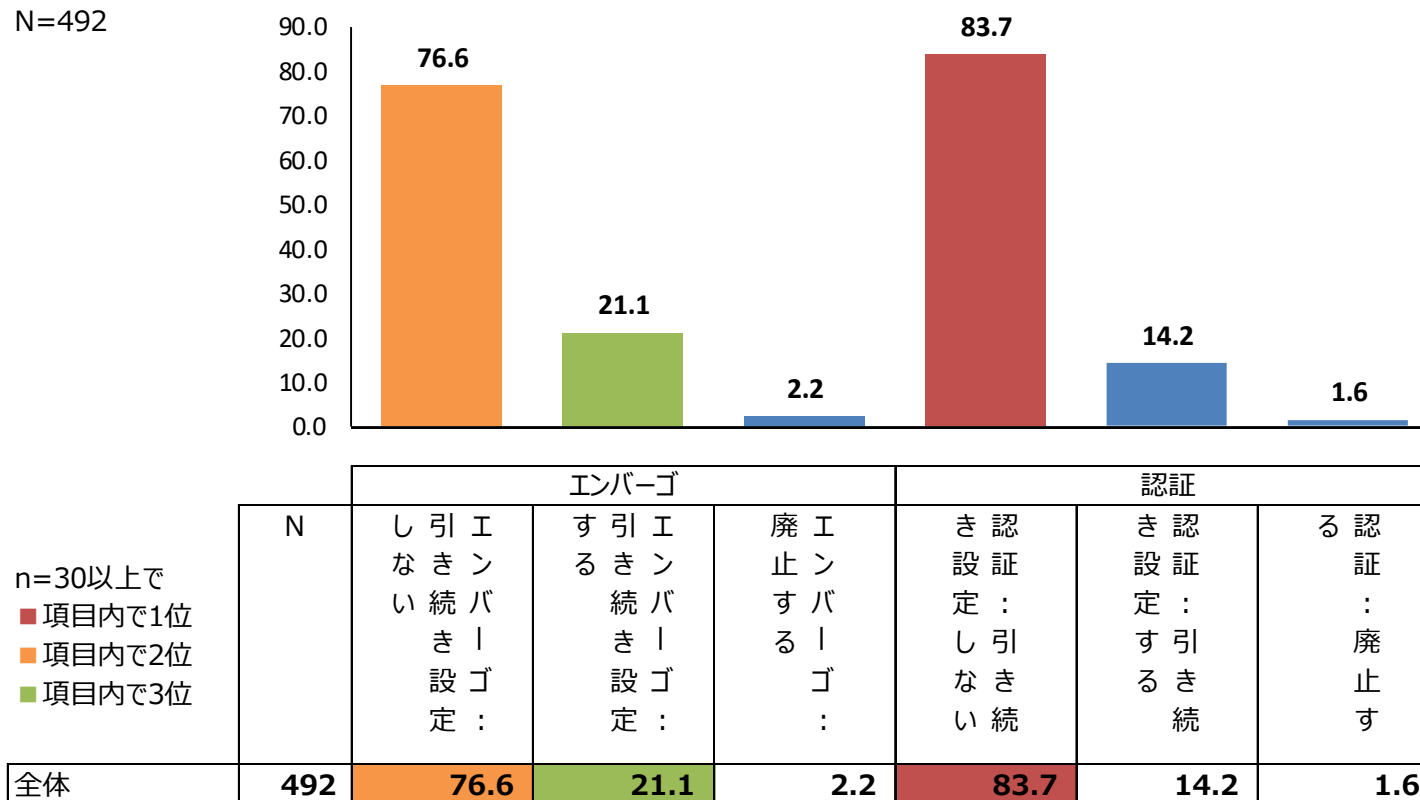
※全体値を降順に並び替え

※単位：%

■ エンバーゴ・認証設定 今後の方針

問13. エンバーゴや認証に関する今後の方針を教えてください。（複数選択可）

- エンバーゴや認証に関する今後の方針について、エンバーゴは「引き続き設定しない」が76.6%、「引き続き設定する」が21.1%、認証は「引き続き設定しない」が83.7%、「引き続き設定する」が14.2%であった。



※全体値を降順に並び替え

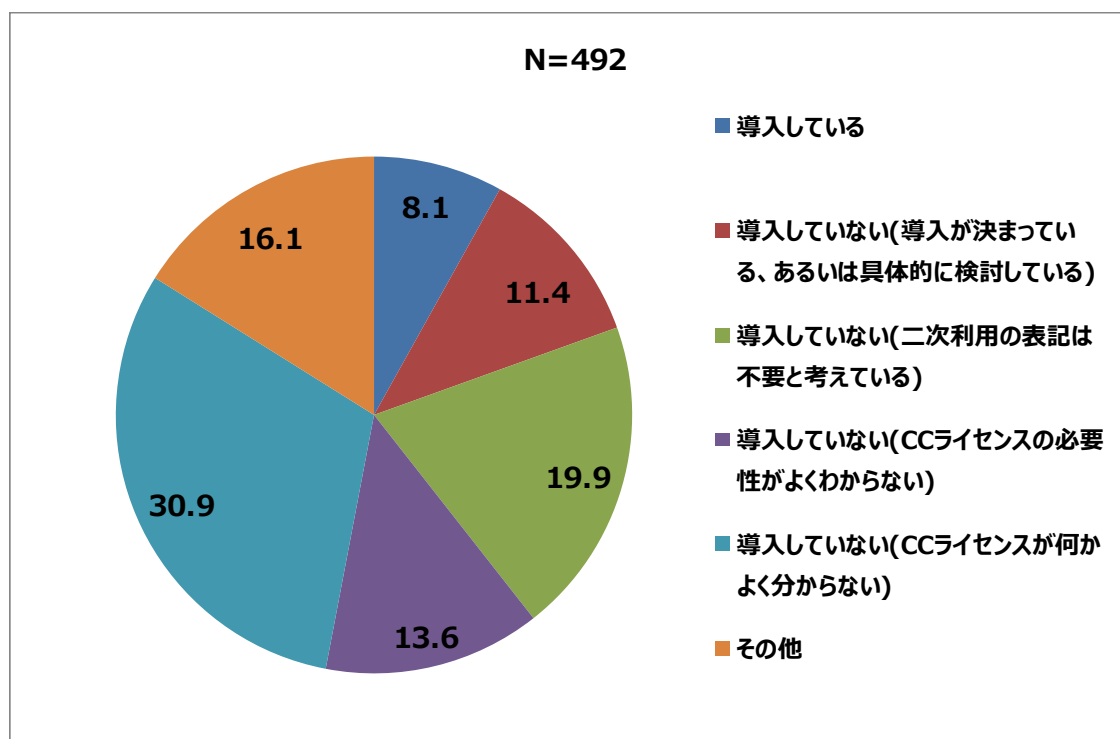
※単位：%

■ 二次利用取扱い方法の表記、ライセンスの導入有無

問14. 海外の論文に関するデータベースの中には、オープンアクセスジャーナルとして登録するにあたり、二次利用に際しての取扱いを明確にしていることを求めているものがあります。貴誌では、二次利用の取扱い方法を論文等に表記していますか。(1つ選択)

- 二次利用取扱い方法の表記、ライセンスの導入有無については、「導入していない(CCライセンスが何かよく分からない)」が30.9%と最も高く、次いで「導入していない(二次利用の表記は不要と考えている)」の19.9%、「導入していない(CCライセンスの必要性がよくわからない)」の13.6%の順に続いている。

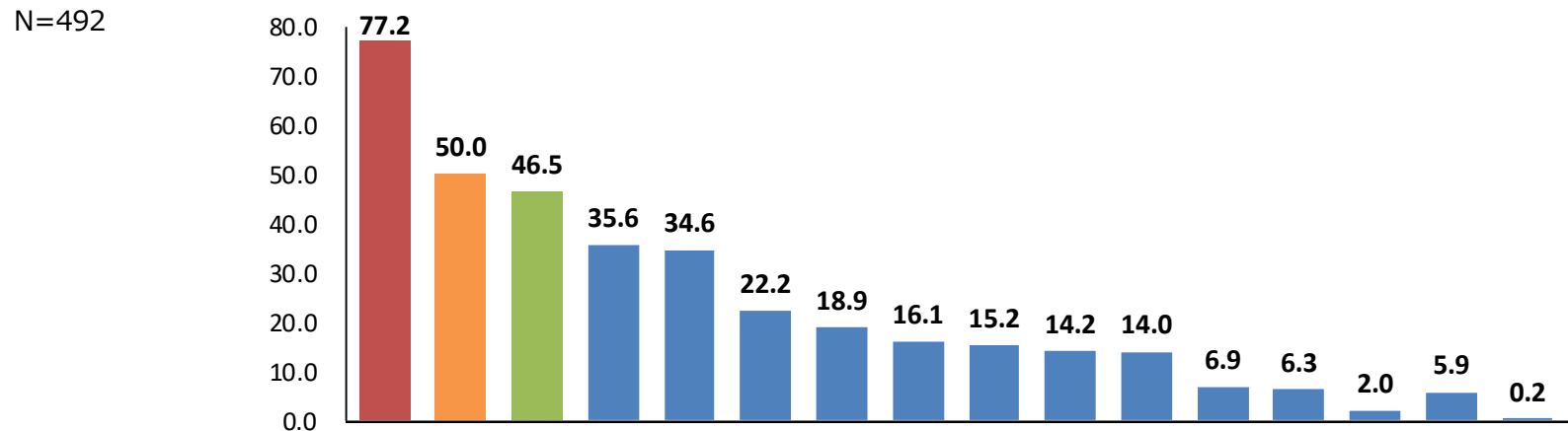
単位：%



■ 電子ジャーナル情報発信に有益であると思われる機能

問15. 電子ジャーナルの情報発信をしていく上で特に有益であると思われる機能を教えてください。（複数選択可）

- 電子ジャーナル情報発信に有益であると思われる機能は、「引用文献リンク」が77.2%と最も高く、次いで「詳細検索機能」の50.0%、「文献情報のダウンロード機能」の46.5%の順に続いている。



n=30以上で
■ 項目内で1位
■ 項目内で2位
■ 項目内で3位

N	引用文献リンク	詳細検索機能	文献情報のダウンロード機能	最新号記事表示	アクセスランキング表示	MY J-STAGE (アラート機能、ブックマーク機能、閲覧履歴表示等)	閲覧履歴表示	電子ジャーナル紹介	おすすめ記事表示	SNS連携機能	「Mendeley」との連携	文献管理ソフト	編集委員紹介	お知らせ等、利用機関がわかりやすいエリア (お知らせ等、利用可能)	その他	特になし	無回答
全体	492	77.2	50.0	46.5	35.6	34.6	22.2	18.9	16.1	15.2	14.2	14.0	6.9	6.3	2.0	5.9	0.2

※全体値を降順に並び替え

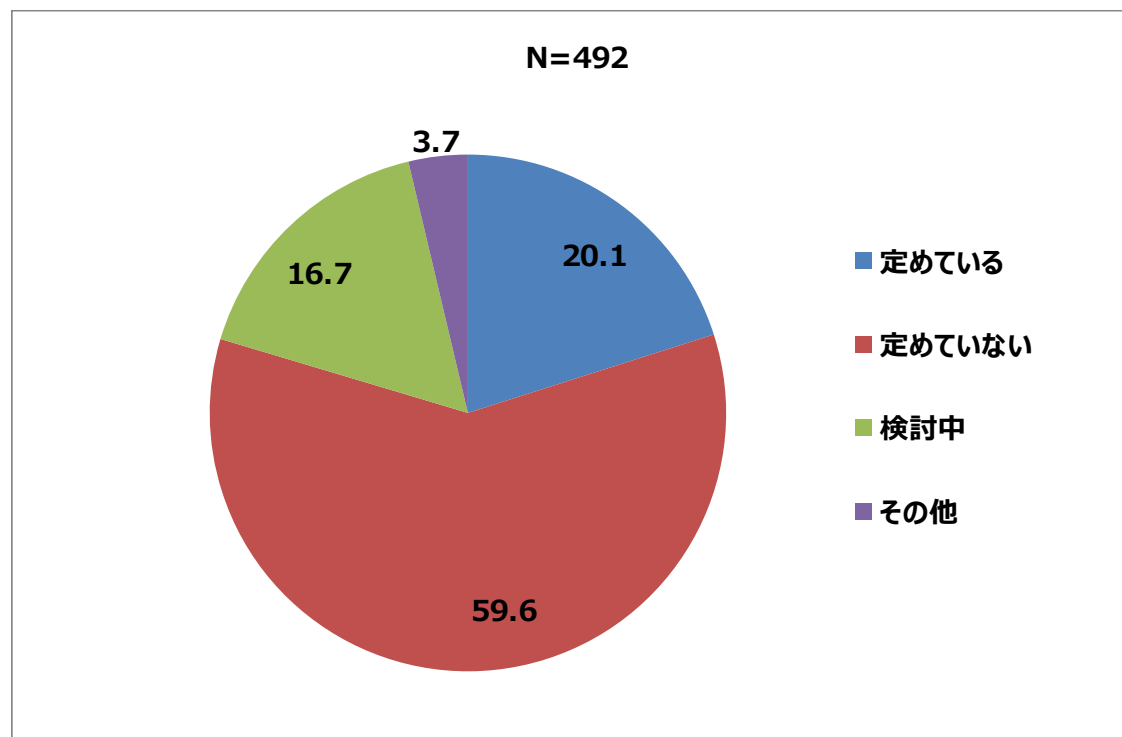
※単位：% 21

■ 研究データの取扱い規程有無

問16. 論文に関連する研究データの取扱いについて、投稿規程等で定めていますか。(1つ選択)

- 研究データの取扱い規程については、59.6%が「定めていない」と回答した。

単位：%

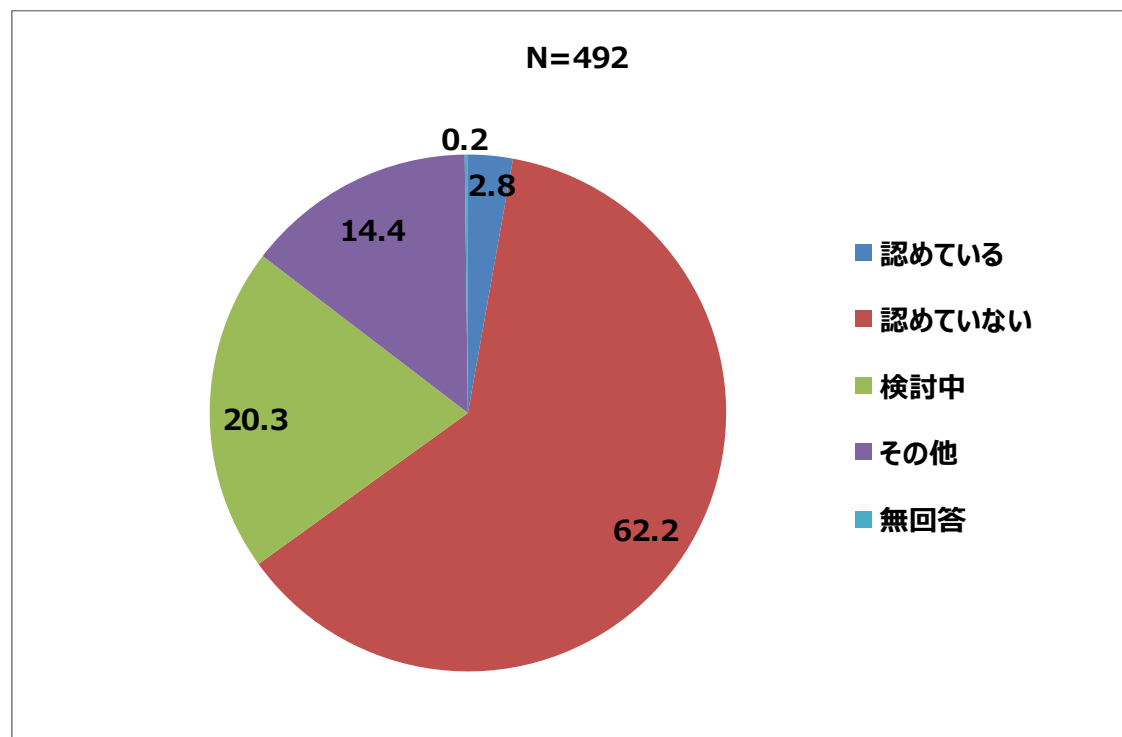


■ プレプリントサーバに登載した原稿の自誌への投稿承認状況

問17. プレプリントサーバに登載した原稿を貴誌に投稿することを認めていますか。(1つ選択)

- プレプリントサーバに登載した原稿の自誌への投稿承認状況については、62.2%が「認めていない」と回答した。

単位：%

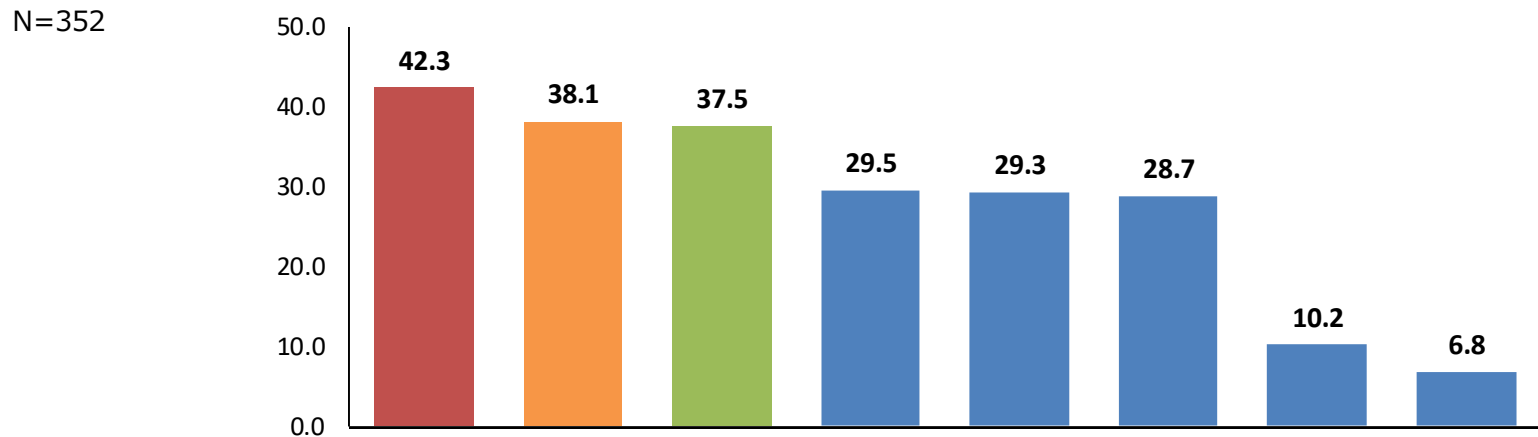


■ 新サービス 役立ちそうと思われるもの

問18. (任意) J-STAGEでは新たなサービスの提供を検討しています。役に立ちそうと思われるものを選択してください。(複数選択可)

- J-STAGEの新たなサービスの中で役立ちそうと思われるものは、「ワード等から全文XMLを作成するツール」が42.3%と最も高く、次いで「論文からその基となる研究データへのリンク機能」の38.1%、「ジャーナルの品質向上に向けた分析・助言(ジャーナルコンサルティング)」の37.5%の順に続いている。

任意回答



n=30以上で
■ 項目内で1位
■ 項目内で2位
■ 項目内で3位

N	ワード等から全文XMLを作成するツール	論文からその基となる研究データへのリンク機能	ジャーナルの品質向上に向けた分析・助言(ジャーナルコンサルティング)	ジャーナルの購読	ジャーナル記事の検索	ジャーナル記事の推薦	公開するジャーナルへの購読	その他	
全体	352	42.3	38.1	37.5	29.5	29.3	28.7	10.2	6.8

※全体値を降順に並び替え

※単位：%